

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	応用数学 I B	
科目基礎情報						
科目番号	0195		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	岩崎千里・煤田登美男「微分方程式概説」(サイエンス社)					
担当教員	背戸柳 実					
到達目標						
1 ベキ級数展開を用いて微分方程式が解ける。 2 簡単な連立微分方程式が解ける。 3 ラプラス変換の基本を理解する。 4 フーリエ級数の基本を理解する。						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	関数のべき級数展開を理解し、それを用いて、さまざまな微分方程式を解くことができる。		関数のべき級数展開を用いて、基本的な微分方程式を解くことができる。		関数のべき級数展開を用いて、基本的な微分方程式が解けない。	
評価項目 2	簡単な連立微分方程式を自由自在に解ける。		簡単な連立微分方程式を解ける。		簡単な連立微分方程式を解けない。	
評価項目 3	ラプラス変換の意味を理解し、それらを用いて微分方程式を解くことができる。		ラプラス変換を用いて、基本的な微分方程式を解くことができる。		ラプラス変換を用いて、基本的な微分方程式を解くことができない。	
評価項目 4	フーリエ級数の意味を理解し、それらを用いて微分方程式を解くことができる。		フーリエ級数を用いて、基本的な微分方程式を解くことができる。		フーリエ級数を用いて、基本的な微分方程式を解くことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (A)						
教育方法等						
概要	【授業目的】 微分方程式とは何かを理解し、典型的な微分方程式の解法を身につける。 べき級数、ラプラス変換、フーリエ級数を理解し、それらを用いたさまざまな微分方程式の解法を修得する。 【Course Objectives】 Students will be able to understand what differential equations are. Students will know how to solve the typical types of differential equations by the methods of power series, the Laplace transformation and the Fourier series.					
授業の進め方・方法	【授業方法】 講義を中心に授業をすすめる。すでに修得しているべき基本事項を質問や演習により確認し、それを基礎として新しい事項を講義していく。また、実際の現象にどのように応用されるか解説する。理解を深めてもらうことを目的に、演習や授業時間外学習のための課題を出題する。 【学習方法】 数学は積み上げ式の学問であるから、これまでに学んできた事項の理解に不足があれば復習を行うこと。特に微分積分の理解は重要である。また、時間をおいた繰り返し学習が修得のために効果的である。自発的な問題演習などにより、試験前だけでなく日々の学習に励んでもらいたい。					
注意点	【定期試験の実施方法】 中間・期末の2回の試験を行う。時間は50分とする。 【成績の評価方法】 成績は中間テスト35%、期末テスト35%、演習・レポート等の課題30%によって評価する。到達目標に基づき、各項目の達成度を評価基準とする。 【履修上の注意】 教科書の問題を解く練習をすること。繰り返しが重要である。 【教員の連絡先】 研究室： A棟2階 A-214 内線電話：8918 e-mail： set アットマークmaizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)					
授業計画						
	週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	シラバス内容の説明, ベキ級数			1
		2週	級数解法・ベキ級数解			1
		3週	ルジャンドルの微分方程式			1
		4週	ベキ級数の収束半径・直交関数系・エルミートの多項式			1
		5週	確定特異点・決定方程式・ベッセル関数			1
		6週	連立微分方程式 (消去法と行列の指数関数)			2
		7週	まとめと演習			
		8週	後期中間試験			
	4thQ	9週	ラプラス変換・逆変換			3
		10週	ラプラス変換の微分方程式への応用 (その1)			3
		11週	ラプラス変換の微分方程式への応用 (その2)			3

	12週	ラプラス変換の性質	3
	13週	フーリエ級数の定義および性質	4
	14週	フーリエ級数の計算例	4
	15週	フーリエ級数とその応用, まとめと演習	4
	16週	後期期末試験	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート等課題	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	0	30	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0